

井原市 市民活動センター

つどえ〜る通信

《発行所》
井原市市民活動センター
715-0019 井原市井原町352-1
Tel.0866-62-9090 (FAX兼)
www.ibara.ne.jp/~katudou/
E-mail:katudou@ibara.ne.jp
編集/NPO法人市民交流
ネットワーク井原

十周年おめでとう

各イベント 工夫満載 櫛の杜賑わう

荒れた里山をよみがえらせようと平成十一年一月以来、井原市門田町の山林へケヤキなど六千本を植樹、定期的に杜の市を開くなど地道な活動を展開してきた櫛の杜塾が十周年を迎えました。



10周年のお祝いに駆けつけた木之子中学校吹奏楽部の演奏

メッセージ2008

記念行事は十月十七日から三日間行われ、多彩な作品が集まった野外アート展をはじめ、ポニー



ーやウサギなどとふれあうミニ動物園やハンカチ絵といった盛り沢山のイベントで賑わいました。

十月十九日、夏を思わせるような快晴の朝、櫛の杜で厳かな安全祈願祭と十周年記念式典が執り行われました。

佐藤清塾長の開会挨拶に始まり十年間、里山整備に尽力された東江原町の森兼一樹さんへ、藤井直彦会長から感謝状と会長が筆をとられた油絵が贈られました。

滝本井原市長らの祝辞に続いて櫛の杜塾の提唱者である藤井会長が、設立からの活動を振り返り「十年間頑張ってきました。地域の皆さんにも遠来の皆さんに

十八日のコーラスに続いて十九日にも里山音楽祭が行われました。鳥羽踊り保存会和太鼓部の勇壮な響き、木之子中学校吹奏楽部の快活な演奏、

母国料理をPR

日本語教室の生徒ら

2008国際交流フェスティバルinいばらが



十一月二日、井原駅前特設会場で開かれました。市民活動センター・つ

井原メルヘンウィンドアサンブルの高貴な調べが櫛の杜に流れるなか、関係者は内外から訪れた多くの人たちと共に十周年を祝いました。

国際交流フェ

どえくるで毎月二回、火曜日午後七時からの日本語教室で学習をしているメンバーは、七カ国のテントで得意の母国料理などを作ってPR販売しました。

同教室で指導に当たっている宮本幸枝代表は、「今回で十三回目。国際社会に対する正しい理解、食を通して地域の方々との交流を図ることが目的です」と話していました。

協働オフィス視察

新居浜市 NPO市民ネット井原

市民活動が盛んなまちの拠点視察し、井原市の

と訪ねて行くと、館長室で熱く語られたあの日のことが今でも鮮明に思い出されます。十年というけれど長くもあり、いろいろあっただろうな、ご苦労も、と観察いたします。

櫛の杜 十周年によせて

をつけた『地球時間』で活動をしていきましょう」と述べられました。

十年前、当時藤井会長が田中美術館館長をされておられたので「櫛の杜塾」の構想についてお聞きしよう

「継続は力なり」進化し続ける里山運動。市内はもとより、県内のまちづくり団体の模範となる団体として確固たる地位を築かれ、今後ますます活躍されることを楽しみにして会場を後にしました。

(取材)NPO法人市民交流ネットワーク井原 理事 上田勝義

内の団体にも伝えようとして十月十二日、つどえくるの指定管理者であるNPO法人市民交流ネットワーク井原の十人が愛媛県新居浜市の協働オフィスを訪れました。

同オフィスの管理運営は、いまま市民企画ノックが当たっており、一般市民や企業のグループなど約百六十団体が登録。インターネットを活用した情報伝達に長け、団体紹介番組を自ら製作し、地元ケーブルテレビで放映するなどの斬新な取り組みがなされていました。

ビアガーデン & フリーマーケット



井原BBQ

今年の夏、ポニー屋上でビアガーデンを開いた井原BBQ（細羽宏子代表）が十月二十五日、同店でフリーマーケットを開きました。

活性化願いの企画運営

井原BBQは中学時代の友人らが集まって今年に結成。現在の会員は十人。井原市の活性化を図ろうと各イベントへの協力にも積極的に取り組んでいます。

つどえ～る登録団体

- 〔・印はNPO法人〕
- 備中西商工会青年部美星支部 (代表 川上 直哉)
- ・まちづくり岡山ネットワーク (代表 吉澤万千子)
- ・井原市福祉をよくする会 (代表 落合 清三)
- 櫛の杜塾 (代表 佐藤 清)
- 鳥羽踊り保存会 (代表 尾山 立志)
- ・プラント (代表 吉原 正敏)
- 井原町まちづくりの会 (代表 三宅 秀治)
- 新現役の会井原支部 (代表 森 岑生)
- ・はっぴいひろばとまとさん家 (代表 川相 肇)
- ・井原はげたき会 (代表 中島 知子)
- 100万人のキャンドルナイト in 井原駅実行委員会 (事務局 上田 勝義)
- 井原BBQ (代表 細羽 宏子)
- 五味会 (代表 宮本 幸枝)
- ボランティアガイド井原 (代表 妙見迫有紀)
- ・市民交流ネットワーク井原 (代表 大坪 正廣)



まちづくりの会が主催

井原町鬼祭りパレード

賑やかだった井原町鬼祭りの歴史を伝えようと十月二十六日、井原町まちづくりの会主催による交通安全啓発パレードが行われ、約二百人が参加しました。午後一時四十分、素戔嗚尊命に扮した石原井原警察署長を先頭に向町公民館を出発。鏡獅子太鼓

「こわいよー」

や井原小学校の長発太鼓を響かせながら、郷社足次山神社までの2・2kmを約二時間かけて下りました。五年ぶりのパレードとあって沿道には多くの住

民が列をなし、温かく一行を迎えました。矢掛町の男性アマチュアカメラマンは「子供が泣きじゃくる様子を撮りました。面白い祭りです」と話していました。

むらおこし最前線

ごっくん馬路村

<http://www.yuzu.or.jp/index.html>

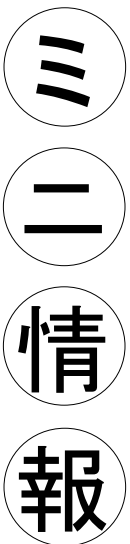
高知県安芸郡馬路村。高知市から車でたつぷり二時間かかる山の中にあつて、人口千七十五人(九月三十日現在)の過疎の村は面積の96%を山林が占めています。馬でしか進めない山奥なので馬の路と書いて「うまじ」という説も。かつて盛んだった林業が影を潜めるなか、主役に躍り出たのは特産のゆずを使った食品産業。ごっくん馬路村のブランドを広めようと平成三年、ダム湖畔や森

は村の木に加えて県のももなつており、建築材や工芸品の製造・販売にも力を注いでいます。村おこしの成功で地元農協は大忙し。産直ショップページを開き受注を大きく伸ばしています。有名な魚梁瀬杉を使った名刺も人気商品。杉

林の中を走るユニークな「おらが村心臓やぶりフルマラソン」を開催して全国の市民ランナーの注目を集めました。

■クリスマスキャンドルづくりのご案内

- 【とき】12月6日(日) 13:30~15:00
- 【会場】つどえ～る
- 【持参品】廃食用油、コップ、百円(ボランティア保険)
- 【主催】100万人のキャンドルナイト2008冬至in井原駅
- 【共催】五味会、NPO法人市民交流ネットワーク井原
- ◇ ◇
- 「五味会指導による廃食用油を使ったキャンドル作りを企画しました。奮ってご参加下さい。参加申込や不明な点は市民活動センター・つどえ～るへお気軽にどうぞ」
- (電話62-9090)



■助成金情報

- ①日本社会福祉弘済会 「1件の助成額は30万円程度。例年7~12月に申請を受付け、翌年3月に交付します」 [問合せ先] 〒130-0022 東京都墨田区江東橋4-24-3 日本社会福祉弘済会「助成事業」係 Tel: 03-3846-2172
- ②赤い羽根 ボランティア団体・NPO活動支援事業 「福祉を目的とするNPOやボランティア団体の活動支援のため、助成要望事業を募集します」 (11/28迄) [問合せ先] 〒700-0807 岡山市南方2-13-1 きらめきプラザ3階 岡山県共同募金会各市町村支会 Tel: 086-223-0065

つどえ～るご利用メモ

- 【1階】使用無料 交流コーナー・ミーティングコーナー・情報コーナー・インターネットコーナー・作業コーナー・パソコンコーナー・展示コーナー・育児ルーム
- 注) コピー印刷等は実費要
- 注) 本施設は公益的業務以外の目的には使用できません。詳しくは事務局へ
- 【2階】有料会議室 (机15・椅子30) 9:00~17:00 1時間あたり 200円 17:00~21:00 1時間あたり 300円 冷暖房は1時間あたり 100円
- 【休館日】月曜日、祝日、年末年始
- 注) ただし月曜日が祝日の場合は、翌日の火曜日が休館